

平成30年度 第4回

帯広市廃棄物減量等推進審議会 議事録
(概要)

日時 平成31年2月8日(金)

午後4時～

会場 ソネビル6階 講習会室

出席委員(10名)

帯広市(8名)

岡田 委員
上谷 委員
齊藤 委員
高田 委員
中川 委員
沼尾 委員
前川 委員
水上 委員
柚原 委員
渡邊 委員

(18名中10名出席)

川端 市民環境部長
岸浪 清掃事業課長
一森 指導担当課長
櫻田 課長補佐
前野 ごみ減量係長
西本 ごみ減量係主査
中村 ごみ減量係主任補
土田 ごみ減量係主任補

- ・川端市民環境部長挨拶
 - ・渡邊会長挨拶
- その後議事に入る

議事（渡邊会長により進行）

1. 帯広市災害廃棄物処理計画（案）について
事務局（櫻田課長補佐）説明

会 長） はい。ありがとうございました。この帯広市災害廃棄物処理計画の案については、先程説明ありましたように、前回の審議会で詳しく説明を受けたところです。それで内容の詳しい説明については省略されたわけですが、まずこのパブリックコメントについて1名の市民の方から内容2件のコメントがご覧のようにきていて、それについて内容が計画原案に含まれているものであるということで、修正を行わず原案どおりで策定するという事になったわけですが、このパブリックコメントの内容ですとかその扱いについて、何かご質問ですとかご意見とかございますでしょうか。あればご発言いただきたいと思います。

意見の方は、ごみの収集が遅れているということだけど、それについては災害が発生後、概ね3日以内に収集を開始するという原案になっているということと、ごみが道路脇に山積みになっていて災害でということについては、集積場を迅速に決定して、ごみの分別の場所や方法を知らせるというふうになっているので、修正をする必要はないということかと思うんですけども、これはこれでよろしいですか。

副 会 長） 意見が少ないですね。テレビなんか見ると、これ凄い山になって出ますよね。僕らは災害がないから凄くなって見ているけど、帯広でもし起きた場合に、それらをどうするのかと。他人ごとではいられない感じなのに、意見が1人っていうのはちょっと寂しいなって感じがありますね。やっぱりこれは何か起こして、もう少し市民に呼び掛ける必要があるかもしれませんね。今後。今回はどうこうするのではなくて、やはり帯広がもし起きた場合にどうするかということですね。そういうことは市民に徹底しておかなければいけない問題だと私は思っていますけれども。何かの機会があればまたよろしくお話ししたいと思います。

会 長) ありがとうございます。この計画案が市議会等を通して制定されたら、その後の広報というか市民への通達みたいなのはどういう感じになるんでしょうね。

事 務 局) 記載されてございます災害ごみ以外ですね、災害ごみについては、なるべく早く集積場所を決めますので、それに基づいて捨てていただきます。その他の生活ごみですね、生ごみだとか普段出るごみ、これについては3日を目途になるべく早く収集したいと考えていますが、過去の被災地の経験ですとか、今回の計画にも載せていますが、初動体制が大変重要だということになってございますので、普段から災害に遭った時のごみの出し方について、事前にチラシを作るなど普段から周知していく必要があると考えてございますので、制定後なるべく早い段階で日頃から皆さんの方にお知らせしていきたいと考えてございます。

会 長) はい。ありがとうございます。実際に発表されたらまた市民からもいろんな意見あるかと思しますので、それにもまた対応いただけたらと思います。

その他、この帯広市災害廃棄物処理計画（案）について、何かご意見ですとかご質問等ございませんでしょうか。いかがですか。いかがですか。

内容的なことについては、この前の審議会ですら詳しく説明をいただいて、そういうことかなというふうな印象かと思えますけど、おそらくこれ実際に災害起きて動いたら予想もしないことがいろいろ起きてくるかとは思いますが。

委 員) 昨年9月の地震で、帯広市としての災害のごみがたくさん出たとか、そういうのはあるんでしょうか。

会 長) いかがですか。地震の時のごみの様子がどうだったかということですよ。

委 員) 停電はみんな経験したんですけれども。

事 務 局) 昨年の停電、9月の時、実際に災害によって廃棄物が出たというのはありませんけれども、当日資源ごみの収集ができなくなりまして、くりりんセンターの方は自家発電でなんとか動いたんですが、十勝リサイクルプラザ、資源ごみを分別するところが電気がこなく

てですね、当日の資源ごみは収集できなくなりましたが。燃やすごみについては生ごみもありますので、通常通り、当日は信号やなんかも止まっていたんですけども、早いスタートはしなくてですね、状況を確認して、これなら大丈夫だということで燃やすごみの方は回収しました。次の日から通常通り回収してきたところです。

会 長) はい。ありがとうございました。地震の時の被害というのは意外と停電の被害も多分大きいということを実際体験したのはいい経験になりましたね。

その他いかがでしょう。内容に限らず、何かこの災害時の廃棄物処理についてお気づきのことなどありましたら発言ください。いかがでしょうか。よろしいですか。そうしましたらこの帯広市災害廃棄物処理計画（案）については、この方向で進めていただくということによろしいかと思えます。

その他なければ、議題の（２）に進みたいと思います。議題の（２）は平成３１年度一般廃棄物処理実施計画（案）です。そうしましたらこの処理実施計画（案）について、事務局からご説明をいただきます。よろしくをお願いします。

２．平成３１年度一般廃棄物処理実施計画（案）について 事務局（前野ごみ減量係長）説明

会 長) はい。ありがとうございました。ただ今、平成３１年度一般廃棄物処理実施計画（案）について事務局から説明をいただきました。これは処理の基本計画に基づいて毎年策定されるものなわけですが、これも、平成３０年度と比較して特に変わったところっていうのはありますか。

事務局) 変わったところがございますが、単体ディスプレイの周知ですとか、３Ｒと啓発活動、３ページになりますが、こちらの中の概要として、単体ディスプレイを周知していくですとか、使用済小型家電の関係で都市鉱山からつくるメダルプロジェクトは終了する予定ですとか、あと事業系の飲食店ごみ、食品ロス削減への取り組みを広げというところが昨年と変更になっているところがございます。

会 長) はい。ありがとうございます。それからさっきの災害廃棄物のところもそうですね。そういう細かいところが少し変わっていますけ

れども、全体的には例年通りの処理実施計画になっているかと思いますが。

今説明いただいたところについて、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。ありましたらご発言ください。いかがですか。副会長何かありますか。

副会長) いかにごみを減らすか。この啓蒙運動は市民生活には絶対大事だと思うし、だからカリキュラム作りというかね、市民が具体的にどうごみを減らしていくんだとか、そのへんのところをもっと細かくやっていかないと、ただ言葉だけ並べたんでは全然減っていかないのではないかと。だから今度はこういうものを出された場合には運動論としてどういう運動をしていくかと。これは行政もそうだし我々市民もどういう運動にするかということで、この献立作りがすごく大切だという感じで見ていたんです。書いてあることはごもつともなことなんで、これをどう日常生活の中に運ぶか。僕らとしてはカリキュラム作りではないかなという感じがしてならないんですよね。皆さんどんな感じを受けたかやっぱり聞きたいところだと思います。

会長) はい、ありがとうございます。今、副会長がおっしゃっていただいたことは、来年からの新しい基本計画にも関わるることかと思えますけれども、実際のところ平成31年度までの基本計画の排出量、特にごみの減量というのは達成されてない部分があるわけですね。そういう意味では今後のごみ減量に向けた、特に市民の皆さんにどういうふうにごみを減らしてもらおうかということはどうやってお願いしていくかということが大きな問題になってくるのかなと思います。

そのへんのことも含めて、何かご意見ございましたらご発言ください。はい、どうぞ。

委員) ちょっと気になったことなんですけど、10ページの5番のし尿、浄化槽汚泥等計画処理量についてなんですけど、し尿が平成28年から30年でだいたい200㎏ずつぐらい減ってるのに対して、31年の予想量が増えているんですけど、これは何かあるんですか。

会長) 実際のし尿の実績値や見込みに比べて、この排出予想量が多くなっているということについての説明ですね。お願いしていいですか。31年度の排出予想量が多くなっているのはどうしてかっていう

ことですね。さっきのごみのところと同じで、10年前に立てた基本計画の排出予想量ですかね、これも。

事務局) 2ページの方で31年度の排出予想量ということで立てた数値ですね、一般廃棄物の資料と同じ考え方ですね。一般廃棄物処理基本計画の中で生活排水処理計画もございますので、こちらの数字を計画では入れていると。実際にはですね、今おっしゃった通り減少傾向にあるので、特に先ほどの災害廃棄物の話ではないですけども、災害とかそういったことがなければ概ね減少傾向にあるのかなというように考えてございます。

委員) わかりました。ありがとうございます。

会長) 今の基本計画を立てた時に31年度の排出予想として4,194㎏予想していたけども、現実はずっと減ったということなんですね。よろしいですか。

委員) はい。

会長) その他いかがでしょう。この一般廃棄物処理実施計画について何かご意見、ご質問などありましたら。よろしいですか。ああ、どうぞ。

委員) 3ページのところの家庭から出る生ごみなんですけど、一番下の減量化の単体ディスポーザーというのは大変良いことだと思うんですけど、今どんな感じで進んでいるのか。補助金のこととか、1台どのくらいしているとか、できる地域のこととかね。今どんな感じで進んでいるのかなと思うんですけども。

事務局) ディスポーザーの関係については、去年の4月から導入ができるようになりまして、区域ですとか内容については一度ご説明をさせていただいております。使用できる区域が限られていまして、浄化センターにつながっている住宅については全部使えます。分流といって雨水と排水(汚水)が別になっている世帯については、街の中心部以外はほとんど使えるようになっています。ただし、主に街の中心、それから東地区については、帯広浄化センターの方に下水がつながっておりまして、そこは雨が降った時に雨水が溢れて下水道に入るものですから、どうしても雨が降って雨量が増えた時は川に

直接流れてしまう恐れがある為に、単体ディスポージャーは使えないということになっています。

今の状況ですが助成はしておりません。下水道課と確認をしたのがかなり前の数字になるんですが、1、2件（その後、担当課に確認したところ3月5日時点で8件の承認を行っているとのこと）というお話を聞いております。導入の時の金額ですとか、電気代がかかるといったこともあると思います。そんな状況でございますので、今後も生ごみ堆肥化容器ですとか、電動生ごみ処理機など生ごみを堆肥化、資源化する方法もありますけれども、その一つに加えて単体ディスポージャーも今後周知していきたいなと考えてございます。

会 長) はい。ありがとうございます。今の話だとこれ1、2件というのは帯広市内で付いている家が1、2件しかないってことなんですかね。

事 務 局) 届出制なものですから、排水処理施設になりますので下水道課に届出をしてから使うということになります。

会 長) マンション規模でそういうのが付いているとかっていうのはあるんですけど。

事 務 局) マンションには以前から付いていまして。単体ではなくてですね、マンションの下に水路の部分と残渣の部分に分かれるようなシステムになっていまして、それについては前から許可、OKになっておりますので、それはいくつかのマンションに現在もあるという状況になってございます。

会 長) マンションについているのは、単体ディスポージャーではないですね。

事 務 局) はい。

会 長) そのようなことでよろしいですか。これも生ごみ減量の手法として効果があると考えて、こういうことで周知してということであれば、これも今後どういうふうに推進するかというの、また相談しないといけないことになりますね。

その他、今の一般廃棄物処理実施計画についてご質問、ご意見ございますか。今後のことも含めてございましたら発言ください。ど

うぞ。

委員) 確認は取れてないんですけど、新得のごみ処理施設がいずれ止めてしまうという話を聞いたんですが、各町村でもっている施設が今後どんどん減っていくと、今のくりりんセンターに全部十勝から集めてくる量が多くなっていくということになると。今災害廃棄物の案が出たんですが、これは帯広市だけで話してるんですが、各町村とも連携をとって話しているのかどうなのかっていうのをちょっとお聞きしたいです。

事務局) 先程ひとつ目に説明させていただいた災害廃棄物処理計画の方にも関係いたします。実はここで出している数値については、9市町村、今現在の構成市町村の数で計算をしております。今、新しい処理施設の検討を始めてございますけれども、その中では広域化というのを推進してございまして、今年31年度からは清水町と池北3町、足寄、陸別、本別、この3つが平成31年度から入ることになっています。将来的には、まだわかりませんが検討している町もあるので、また増えてくると思いますので、その構成市町村の数によってまた再計算しなければならないというふうに考えておりますので、その時はまた改定をしていくこととなります。今現在は9市町村で出している数値です。

会長) ありがとうございます。これ大きな流れとしては、もっと全体に広域化して十勝管内みんな一緒になるような方向という感じなんですね。

事務局) 31年から13になりまして、33年からは新聞に載っていたかと思うんですが、新得、鹿追も検討してます。その後も時期はわかりませんが一応、検討はしているというふうに伺っています。

会長) そうするとこの構成市町村が増えていくにつれて、ごみ処理の施設の能力も上げていかないといけないということになるんですね。今もある程度は余裕はあるわけですよ。現状では。

事務局) 能力を上げるというより、今、一般廃棄物を各町村で処理をしていますが、その余力の中で。災害があっても普段のごみは出ますので、その余力の中でどうやって使っていくかという話をしていますので、今は9市町村ですが、もっと増えていけばそれだけの割合で

という形になってくるかと思います。

会 長) これからの変化を見ながらの検討になるんですね。よろしいですか。

委 員) はい。

会 長) その他いかがでしょうか。何か今のような将来的なことも含めてございましたらご質問ください。いかがですか。よろしいですか。ないようでしたら、これで2番目の議題を終わって、次に議題の(3)に進みます。議題(3)は一般廃棄物処理基本計画の実施状況と今後の取組みについて。これについて、事務局の方から説明をお願いします。

3. 一般廃棄物処理基本計画の実施状況と今後の取組みについて 事務局（前野ごみ減量係長）説明

会 長) はい。ありがとうございました。今、事務局の方から来年までの、一般廃棄物処理基本計画に基づいて現在どういう実施状況で、また残りの1年どういう取組みということやっていくかということについての説明と、それからその基礎になっている現在の第三次帯広市一般廃棄物処理基本計画の施策の体系、どういう仕組みになっているかということについての説明をいただきました。今説明の最後の方でも言っていたように、今日はまず来年度に向けての取組みについてもそうですが、来年度1年かけて今度は、第四次の新しい帯広市一般廃棄物処理基本計画というのを作っていくこととなりますので、それに向けてこの現行の基本計画について何か問題点ですとか、こういうことを加えたらというようなことも含めてご意見をいただけたらと思います。

まず今説明いただいたことについて、何か質問ですとか確認事項とかございますか。あればご発言ください。

副 会 長) ひとついいですか。いつも言ってることなんですけど、木質系のね、木の処理の問題。これ重点でも出されているから安心するんですけど、一番困るのは持ち運びができない。処理をしていることは大変高くかかります。帯広の森でやっていますから。これはすごく嬉しいんですけど、問題は各地域にある自宅の木を剪定した場合、こういったものは持ち運びができない。この処理をどうかしていただ

きたいというのが私の強い願いなんですね。今後は帯広の森で処理してやっているから良いんだけど、各家庭にある木片をどのように集めてやっていただけるかと。持って来いということでは大変なことなんですね。このへんのところをもうちょっと詰めてほしいなというのが私の願いです。でも、重点の中で、こういう方向性が出ていることは高く評価をしておきたいとこう思っております。今後ともよろしく願いしたいと。

会 長) はい。ありがとうございます。家庭で出てくるような剪定枝だとか木くずとかについての回収ですね。これを有料の燃えるごみということではなくリサイクル物としてどう集められるかという問題かと思えますけど、そのへんについて何かありますか。

事務局) もう2、3年ですね。帯広の森で無料回収を実施してから。ご自分で運べる方に限られておりますけれども。現在自分のご自宅から出る物についてはある程度の大きさにしてもらって、燃やすごみの日に出していただく。ただそれは有料になっているということになってございます。今後も引き続きごみの資源化と合わせて緑化振興ということも考えまして、また引き続き検討課題ということでやっていきたいなと思っております。

会 長) はい。ありがとうございます。引き続き検討をよろしく願いいたします。その他いかがでしょうか。

委 員) 生ごみ食品排出物のリサイクル推進ってありますよね。生ごみと食品廃棄物のリサイクルといいますと、そこから肥料だとかそちらの方になるんだと思うんですけども、今現在の収集方法だと他のごみと生ごみと一緒にすよね。その中でどうやって生ごみと食品廃棄物のリサイクルをしていくのかなとちょっと疑問に思ったんですが。

会 長) 生ごみや食品廃棄物というのを、他のごみとは別にリサイクルするというのは現状では難しいはずですよ。

委 員) その中でこのリサイクルの推進とあるものですから、どういうふうに考えていらっしゃるのかなと思ったんです。

会 長) このへんいかがですか。方針2の3の3ですね。

事務局) 家庭から出るものの中にも食品廃棄物ということで食品ロスというものがああります。また、事業系の廃棄物とあわせて考えてございます。現在の取組みについては、生ごみ堆肥化容器ですとか、電動生ごみ処理機、それから今年度から導入したディスポーザーということの取組みを今進めていくというところですね。食品廃棄物、特に事業系については今、市の取組みは特にないんですけども、民間で一昨年、食品系の廃棄物の処理をする施設もできていますので、そういうところも含めた今後の推進ということになります。少しでも食品ロスも含めたというのは、来年度の特に事業系の飲食店ですとかそういうところと一緒に取組んでいきたいですとか、そういうところももう少しやっていかなければならないというように考えています。

委員) リサイクルと減量とはまた違いますよね。そういう意味で、私は事業系のことはよくわからないんですけども、リサイクルで出しているということになると、先ほどおっしゃった生ごみ処理機だとかそういうものとはまた別の問題なのかなとちょっと思ったものですから、どういうふうにリサイクルを考えていらっしゃるのかなというふうに思っています。

事務局) 堆肥化することによって畑というところは生ごみ堆肥化容器ということで、そこでリサイクルという。

委員) そうですか。

会長) 現状として帯広市でリサイクルを目的として家庭から生ごみや食品廃棄物を一般の燃えるごみとは別に収集するっていう計画ではないってことですね。今ご説明いただいたように、家庭で堆肥化するっていう形のリサイクル。それから事業ごみとして出てくる食品廃棄物のリサイクルというのは、そういったものだけが別に出てくるならできるわけですけど、今燃えるごみとして捨てられている生ごみとか食品廃棄物について、それをリサイクルするってどうするのかっていうご質問ですよ。そこは今後の検討課題ですよ。

委員) できるのかなと。

事務局) 堆肥化がひとつ、それともうひとつはバイオマスもあります。それについては中間処理施設の話も関係してまいりますので、今現在

やっているというのと、熱処理をして電気に変えてということになりますけども、今後も含めてバイオマスだとかということも念頭にですね、考えていかなければならないとは、そういうことでもしない限り大きく生ごみ、食品廃棄物の減量は進まないという考えはございます。

会長) 来年の検討の時には、具体的にどこから出てくるどの生ごみと食品廃棄物のリサイクルなのかというのは少しはっきりさせた方がいいかもしれないですね。あと逆に今の説明からいくと、それをリサイクルしてくれるところが増えてくることで逆に個別に集めるってような発想になってくのかもかもしれませんね。今のところ集めたって、それだけ持っていくところがないですもんね。ありがとうございます。よろしいですか。

委員) はい。

会長) その他いかがですか。今のようにこの中に並んでいるものの中で、ここはどうだろうかということ。はい。

委員) 事業者への対応の2番なんですが、小売店・商店街等への適正包装等の協力要請というように書いてあるんですが、これは文章か何かで協力要請するのかどうなのか。もしその文章があれば私たちの組合でも組合員さんに過剰な包装をしない要請をいたしたいというふうに思っているんで、もし文章があれば欲しいということです。今年選挙があるんですが、非常に過剰な包装をしてお酒を出すというのが4年に1回あるんですが、箱に入って包装してのしを付けてって。その包装を全部破ってごみになるっていう4年に1回悩まされてるってというのは商店の方でもあるっていうふうに言われているので、3月くらいまでできれば組合員さんに周知したいと思っていますのでよろしくお願いします。

会長) ありがとうございます。これは今すぐの話ですね。おそらくこれ、適正包装といっても、個別の商店だとか商業組合とかでこうしろって言うのはちょっと言いにくいから、帯広市の方とかでそういうのを作って配ればいようにしてもらおうってことですね。そのへんいかがですか。対応できますか。

事務局) 取り組みではですね。この②のところは、過剰な包装や緩衝材の

使用を抑制するよう小売店や商店街などへ協力要請を行います。また各事業所についてはマイバック運動などの様々な取組みへの協力要請をしますとなつてございまして、レジ袋の方は様々な取組みを進めてきたところですが、個別に商店街に向けて特に今まで協力要請等を行ってはいきていなかったかと思ひます。ちょっと日程的に間に合うかどうかわかりませんが、あと1年ありますので、何か考へていきたくと思ひます。

会 長) はい。どうもありがとうございます。
その他いかがでしょうか。細かいところでも。はい。

副 会 長) ひとつ教へてほしいんだけども。これ小学校の何年生の社会科でやつてるの。

会 長) 環境教育ですね。

事 務 局) 4年生です。

副 会 長) 4年生は市内では八百何人いたよね。

事 務 局) 今年度は13校に行きまして。

副 会 長) 全部の4年生がやつてるわけではないですね。

事 務 局) そうですね。学校の方から。こちらにお申込みいただいた学校にという形になりますので。はい。

副 会 長) 実は私の町内では小学生から教へられることが多いんですよ。ごみの後始末を。これは学習ではとても大事だと思つているんです。でも、実際見ると社会科の授業といへど、市内全部でやつてくれればいいけれども、ごく一部であれば傾斜ができて非常に残念な結果かなと思ふんですよ。だから運動としては、今学校教育で時間をくれるかどうかわからんよ、是非取り上げてほしいというね。全市一斉に傾斜がないように取り組んでほしいというのが願ひです。実績は860人と出ているから、それはそれでいいんだけども。学んでない地域があればそれは是非なくしてもらふということが大事かなと思つています。子供達から逆に教へられることが多いので、これは是非大事にしてほしい重点政策のひとつかなと思つていますので願ひします。

会 長) はい。ありがとうございます。子供の時からの取組みって自然に入っていきますから。一方で学校は忙しいですからね。今ね。特に小学校もすごく忙しくなってますから、なかなかそこらへん、すり合わせていくの難しいかと思いますが、ますます進めていただけたらと思います。

その他いかがでしょう。何かここに今ないけれども、今後こういうことを検討してもらいたいとかってというようなことも含めてご発言いただけたらいいかと思います。いかがですか。

もう資源集団回収は町内会の活動が盛り上がるかそうならないかです。いぶん変わっちゃうんですね。

副 会 長) ちょっとこれ減ってるんじゃないかい。量が減ってるというか。科学は進んでいくから、ビール缶でも軽くなってね。お金になるものは全部軽くなってから、数は結構増えるんだけど重さは軽くなる。だから科学に僕も負けてるのが現状だから。

会 長) 確かに我々の町内会で見ても、今までと同じ日程で同じように集めても、それで入ってくるお金は大分昔より少なくなっちゃいましたね。やっぱり軽くなってらるんだらうなど。もちろんごみの価格のこともあるかとは思いますが、軽くなってらるかなと思いますね。

その他そういう地域の、社会とかそういったこととの関係なんかでも、ごみの問題っていろんな側面があるかと思いますが、どんなことでもみんな参考になるかと思いますが、何かお気づきのことがあれば発言ください。いかがですか。どうぞ。

委 員) うちの町内以外なんですけれども、隣接している町内で決まってごみがひどい状態になっててカラスが来たり、大体そういうところって決まってるんですよ。マンションですとか、自分が良ければ人のことを考えないとか、とても無責任な人達が多いのかなと思いますけれども。そういう方達をたまに市の方が回ってらっしゃるってことも見受けられるんですけれども、そういうのをどうしたらいいんでしょうね。

会 長) 私らの町内は金属でできたごみステーションを管理してるんですけど、やっぱり集合住宅のある近くというのは汚くなりやすいですよ。それまた今時、昔みたいに訪ねて行って、これちゃんとしてくださいって言いにくいじゃないですか。喧嘩になったりするとね、

怖いのですしね。なかなか難しくて。そのへん、市の方から言っていたくのとって地域としても有難いんですけれども。そのへんこれからどうしようとかについて何かありますか。

事務局) 現状もそうなんですけども、集合住宅なんかで出し方のマナーが悪い所はうちの方でもデータ化していて、どことどこみたいな形では押さえていまして、そこの部分については祝休日も私どもは収集しているんでキープしてますし。あと夜間ですね、昼間になかなか会えない、そういったマンションに関しては全てというわけではないんですけど、年間60棟ぐらいのマンションを夜間や祝日なりで直接出し方のお願いをしているような状況はあるんですけど。ただ、なかなかやっぱり会えなかったり、ピンポン押しても開けてくれなかったりということで、実際に会える方というのは50%ちょっと、55%ぐらいの方にしか会えないという状況があるんですけども。3回4回行ってどうしても会えない場合はチラシか何かということも対応をさせていただいているんですけども、繰り返してやる以外にないのかなと思っております。

会長) ありがとうございます。町内会としてもいろいろこのごみのことは気にしてるんですけど、さっきのお酒の方と同じで、やっぱり言いにくいんですよ。今は昔と違って。気が付いてあの人だなんてわかっててもあなたって言えないですよ。最近ね。ですから、そういうところも市の方で何か作っていただいて、我々は配るといとか渡せばいいとかね、そういうふうにしていただけると少し対応できるかなみたいな感じもしました。

委員) 管理人さん、大家さんの厳しいところはちょっと綺麗にはしているんですけど、管理人さん次第というところもあるんじゃないんですかね。

事務局) 管理人さんがいるところってなかなか今少なくなってきた状況にあるので、今おっしゃられた通り管理人さんがいたり、大家さんのいるところはやはりきれいな傾向にあります。今どちらかというところとそういうのよりも不動産会社といいますか、管理する会社がありますよね。そういった管理会社も頑張っていますが、目の届く範囲という点では多少違いはあるかと思えます。

会長) 大家さんが近くに住んでおられた頃は、町内でその大家さんたち

やんと話せばできたんですけど、管理会社になっちゃうともう町内会の手の届くところではないんですよね。だからそういうところについてはやっぱり行政の方からできる範囲でやっていただかないといけないのかなというふうにも思います。ありがとうございました。

その他いかがでしょう。何かお気づきのことがあれば。何か再来年からの新しい一般廃棄物処理基本計画でこういうことも検討してもらいたいとかみたいなのもあればご意見いただけると参考になります。いかがでしょうか。よろしいですか。

副会長) ごみをいかに出さないかというね。ごみにしない運動を心掛ける。これからの私達の最大の課題かなと。だからリサイクルももちろんだけども、基本はそこだと思うんですね。最近若干いろいろなものではね変わってきましたよね。お店の中でやるものとかね。だからそういった点でもっと市民がごみが出ないようにお願いしたいと騒げば変わるかもしれないから、このへんは声を出して、もしあれば出してね、運動していくことが大事かなと思うんですけれども。

会長) ありがとうございます。市の方の廃棄物処理の基本計画もそういう市民の声を後押ししてくれるような形の計画になっていくといかなと思いました。これ、あれですか。削減の目標って次の基本計画では見直しがかかるんですかね。

事務局) 前回、少しお話を申し上げましたが、目標設定をまた変えようと考えておりますので、今も目標とかなり離れている現状があるものですから、もう少し達成しやすい、あるいは頑張った状況が確認できるようにはしたいなとは考えています。

会長) はい。ありがとうございました。その他ございませんか。よろしいでしょうか。

なければ今日事務局の方から議題として出ているものは以上なんですけれども、議題でその他ってございます。今、大分大きなことも含めて伺いましたので、もうあんまりないかと思えますけれども、何かもう少し清掃行政だとか、ごみ減量・リサイクルの関係でちょっと言い残したことなんかがあればご発言いただけたらと思えますが。よろしいですか。今皆さん伺いましたね。

副会長) 4円20銭以上は上がらないんでしょう。4円20銭以上はさ。

奨励金でご褒美だから。5円ぐらいにしてくれるとかそういうことにはならないんでしょうね。最低限だもんね。町内会で資源回収やってるんだけど、すごいやっている熱心なところも多いですよ。だからもうちょっと奨励金だからね、若干上げてもらうようなことは出来ないのかなというようね。

会 長) 町内会の財政もだんだん苦しくなってきました、うちの町内会もいろいろ町内からの意見があって、町内会費を値下げしたんですよ。特に独居のお年寄りの方とか、なかなか町内会費払うのも大変だっていうことで。そうすると全体的に縮まってくるんですよ。その中でこの資源回収の奨励金って結構大きな収入ですよ。そこらへんで励ましてもらえると、もう少しできるかなって感じは確かにありますね。

副 会 長) Sの時に結構出されたりするんですよ。でもこれは市に行くからね、いいんだけど。町内の還元にはならないからね。そういう面でちょっと4円20銭が長いからちょっと上がらないものかなって感じがするね。

事 務 局) それについては、他市町村の状況ですとか、費用対効果ですとか、確認はしなければならないと思っておりますので上げるか上げないかというのは。

委 員) 全体的な支出というのは下がっているんですか。

事 務 局) そうですね。排出量が下がっているんで、下がっています。

副 会 長) ビンがお金にならないからね。重さはあるんだけど。アルミが一番あるんですよ。

事 務 局) 紙。雑誌、新聞を購読する方も少なくなりましたしね。

会 長) そうですね。新聞とらない人が増えましたからね。

委 員) ちょっと簡単なことで。缶ビールを潰すのとそのままって、よく潰さないで出してくださいって。潰したほうがかさが減るんですけども。あれはどのように。

事 務 局) あれはリサイクルプラザに一回集めて、それを潰してブロック状

にします。その時に最初から小さくされてますと噛み合わないのでバラバラとなってしまいます。それが形あるものを一瞬で潰すと噛み合ってバラバラにならないということになりますので、重さは変わりませんので、かさは減るかとは思いますが、なるべく潰さないで出していただきたいと思います。

会 長) 資源回収するときに大変なんですよ。

委 員) そういうこともわからないんですよ。聞かないとね。

会 長) よく見ると書いてあったり。

委 員) トラックの人なんか聞いたらどちらでもいいんだよって回収の方にちらっと聞いたらどちらでもいいですよと言われたので。潰してほしくないかなと思って。はい、わかりました。

事 務 局) 資源回収の場合は資源回収業者さんがそのまま持っていきますのでね。資源回収業者に確認していただければ。

会 長) そうですね。資源回収の時は業者さんにもよるんですよ。今町内会の話ばかり出ましたけれども、ごみの減量の問題って結局地域社会だとか我々の暮らし方と直に関わることだと思うので、来年度以降の新しい基本計画の策定にあたっては、市民の生活との関係みたいなものにも注意を置きながら策定できたらいいのかなというふうに思いました。今日いろいろご意見、ご質問いただきましたけれども、今日出ました意見ですとか提言そういったものを踏まえて、事務局の方には今後も取組みを進めていただけたらと思います。

今日いろいろご議論いただきましたけれども、最初にも申しあげましたようにこの2年間にわたって審議を行ってまいりましたこの第12期の審議会ですけれども、今回をもって終了となります。本当にいろいろ貴重なご意見をお聞かせいただきありがとうございます。これは恒例なんですよけれども、最後の会ではお一人お一人から一言ちょっと感想ですとか提言、ご意見をいただいて終わるようにしてしますので、順番に一言ずつ感想をお聞かせ願えたらと思います。それでは副会長から。

副 会 長) この審議会に入ったのは長いんですけども、私も町内会では資源を集める活動を先頭に立ってやってるわけですね。貴重なご意見たく

さんいただきました。しかしこれは町内会の活動資金ばかりじゃなくて、リサイクルという面で資源全体を考えなければなりません。大事な運動だと思うので引き続きこの運動は継続をお願いしたいところっております。よろしく申し上げます。

委員) 私も審議委員になって長いんですけども、意見としては大してお役に立てなかったんじゃないかと思うんですけども、大変勉強させていただきました。ありがとうございました。

委員) 私もこの会に出て自分が勉強させられるというか、知ったこともあるので、少しでもこれを私のお友達とかお知り合いに伝えて、少しでもごみの勉強会になればと思っておりますので、今後ともよろしく申し上げます。ありがとうございました。

委員) 今回この審議会の委員になったのは初めてだったんですけど、高校時代にいろんなことを学べて良かったと思っております。大人になったりしたら、今回学んだことを活かしてより良いまちづくりに貢献できたらと思っております。

委員) 僕も今回初めてこの委員会に参加させていただいたんですけど、様々な意見を聞いて、自分なりにこうしなきゃいけないのかなとかいろいろ学べる機会であったのでありがとうございました。

委員) 2年間ありがとうございました。僕も長くいるんですが、少しずつリサイクルやごみを減らそうということを家庭でも率先してやらせていただいています。ありがとうございました。

委員) 私も今回初めてこの会に参加させていただいたんですけど、とても勉強になりました。私自身も気をつけなくちゃいけない点はまだまだあると思います。友達にもいいところは勧めていきたいと思っておりますので、いろいろと本当にありがとうございました。

委員) 私も自分の家庭のごみというのは考えていたんですけども、帯広市全体のごみっていうのは本当に目を向けさせられたなと思っております。今後とも自分の家庭も社会もそういうことができるような気持ちで歩んでいけたらなと思っております。

委員) 2年間ありがとうございました。まずうちの場合は家族が多いんですけど、このごみの処理の仕方を徹底させるっていうところに今

奮闘中です。なかなかきちんと、さっきの新聞に出てみたいのに、プラスチックごみやなんかをきれいにしてお出すということができていないので、縛ってからほどいて洗って出すということをやっているものですから、毎日のことですから徹底するって難しいかなって思うんですけど、やっぱりこうやって出ていろんなことを、よく読めばわかることがあるかもしれないんですけど、なかなかどうやってごみの分別もそうですけど、出し方って浸透していないのかな、まだまだと思うので、私自身がしっかり勉強して周りの方にお伝えできるようになればいいのかなと思いましたのでこれからも頑張りたいかなと思うので、勉強させていただいて本当にありがとうございました。

会 長) どうもありがとうございました。私もかなり長くやらせていただいているんですが、そんなにある日突然急に良くなったりはしないけれども、年々年々少しずつ少しずつ改善されてるところは確実にあるんですよ。そういうことの積み重ねみたいなことが大事なんだなってことを今年また改めて勉強させていただきました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

では最後に事務局の方から何かありましたらお願いします。

事務局) 最後に宿題の1件忘れていました。前回のアンケートのサンプル数ですが、今回と同じ1,000件、回答が580件あったということでございます。

会 長) 前回の審議会の時に学生から質問があったところですね。前にもアンケートをやっていて、その際のサンプル数がどうだったかということでしたね。はい、ありがとうございました。

最後に事務局よりお礼を述べ審議会は終了した。